

高知県

ようやく動きだします

高知県では、平成27年度から、一般社団法人支援の三角点設置研究会のご協力を得て、人材育成研修を始めたばかりです。

1 県の基礎情報

高知県



取組内容

【人材育成の取り組み】

- 平成24年度：研修会を実施。
- 平成27年度：一般社団法人支援の三角点設置研究会の人材育成推進県に参加し、研修を実施。

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- 平成24年度～：ピアサポーター養成
- 平成23年度～平成25年度：アウトリーチ推進事業モデル事業実施

基本情報

圏域数	4カ所
人口	728,461人（平成27年国勢調査速報値）
精神科病院の数	24病院
精神科病床数	3,622床
入院精神障害者数	3か月未満：609人（20.2%）
	3か月以上1年未満：539人（17.8%）
	1年以上：1,869人（61.9%）
退院率	入院後3か月時点：66.4%
	入院後1年時点：92.4%
相談支援事業所数	一般相談事業所数：22
	特定相談事業所数：83
障害福祉サービスの利用状況	地域移行支援サービス：2件（平成26年度）
	地域定着支援サービス：8人（平成26年度）
保健所	6カ所（県保健所5、中核市保健所1）
（自立支援）協議会	（人材育成について議論）：人材育成部会 （活動頻度）：1回/年
	（精神障害者の地域移行についての専門部会なし）
精神保健福祉審議会	平成18年2月で廃止（平成18年12月から精神保健福祉協議会を設置）

※H28年2月1日時点 入院精神障害者数や退院率は平成26年度精神保健福祉資料

2 都道府県としての精神障害者の地域移行推進のための人材育成の取り組みの経緯

地域移行に関わる職員向けの人材育成

○平成24年度

①地域移行・地域定着支援研修会（県主催）

個別給付化の内容や、地域移行・定着に関する研修会の実施（H25.2.25）

※その他、精神保健福祉士協会主催の会で地域移行・定着支援について説明

○平成27年度

①地域移行・地域定着支援研修会

一般社団法人支援の三角点設置研究会の人材育成推進県に参加し、協力を得て、研修を2回実施（H27.12.27、H28.2.2～2.3）

ピアサポーターの育成に関すること

○平成24年度～

①ピアサポーター養成・活用（相談支援事業所に委託し、1圏域で実施）

取組内容

- ・病院やその他の機関での体験発表
- ・当事者同士の交流会

3 都道府県としての精神障害者の地域移行の取り組みの経緯

ピアサポーターの育成に関すること

○平成24年度～

①ピアサポーター養成・活用（相談支援事業所に委託し、1圏域で実施）

取組内容

- ・病院やその他の機関での体験発表
- ・当事者同士の交流会



アウトリーチ推進事業に関すること

○平成23年度～平成25年度

精神障害者アウトリーチ推進事業（モデル事業）を実施

委託先：単科精神科病院1か所、地域活動支援センター1か所

圏域：中央圏域

対応人数：延15人

精神障害者に関する啓発活動について

○継続しての取組

- ・地域住民と精神障害者の交流の場づくり（各福祉保健所において）
- ・精神障害に対する地域住民の理解を深めるための講演会や研修会の開催（各福祉保健所において）
- ・地域移行・地域定着支援の取組みを促進するための精神科医療機関への働きかけ

3-1 中央圏域の取組①

ピアサポーターの取り組み

平成24年度

- ・医療機関に入院中の方を対象に、地域のサービスなどの説明会を実施。
- ・他県のピアサポーターグループとの交流会を実施。

平成25年度

- ・先進地視察
- ・先進地視察報告会
- ・各種研修会で体験発表（ヘルパー研修、医療機関の研修会）
- ・医療機関に入院中の方を対象に、地域のサービスなどの説明会を実施。

平成26年度

- ・他県のピアサポーターグループの活動を知る講演会・交流会の実施。
- ・医療機関での体験発表。

平成27年度

- ・ピアサポーター養成講座の実施。
- ・ピアサポーター同士の交流会の実施。（当事者による運営）
- ・医療機関における体験発表。
- ・各種研修会で体験発表（地域移行の研修会）



4 都道府県としての来年度への抱負

地域移行推進のための人材育成について

- 人材育成フォローアップ研修
平成27年度実施した研修のフォローアップ研修を行う。

市町村支援について

- モデル圏域で、地域移行・地域定着支援について取組の協議を行うが、その際に市町村にも参画してもらう。

地域移行の推進について

- モデル圏域で、地域移行・地域定着支援について取組の協議を行う。
(年間3回程度)

5 次年度の戦略

長期目標

- ・ 県の自立支援協議会に地域移行・地域定着支援部会を設置する。
- ・ 全圏域で地域移行・地域定着支援の取組を協議する場を設置できる。

短期（次年度）目標

モデル圏域において、地域移行・地域定着支援の取り組みを協議する場を設置できる。

目標達成のためのスケジュール(いつ、だれが、何を、どのように実施するか)

時期		
3月	モデル圏域において関係者で協議を持つ	次年度からの取組内容について、関係者で共有し、合意形成を図る
4月以降	モデル圏域において取組開始、継続協議の場を持つ(年3回程度)	モデル圏域で取組を開始。それに応じて、継続して協議・モニタリングしていく。(他圏域にも共有)
秋以降	フォローアップ研修	平成27年度受講者に対して、フォローアップ研修を実施。